

「美と健康を創る繊維・材料」 講演会
—消費者のハートをつかむものづくりのために—

近年、消費者の美、健康、心地よさなどの関心に応じて、美を追求した化粧品、多様な機能を持つ健康食品、快適さを追求した衣服など、様々な商品が私たちの身の回りにあふれています。これらの商品作りには繊維に関連するテクノロジーが応用され、繊維が持つ特有の機能を活用しています。このように可能性を無限に秘めた繊維を、これからどのように活用したらよいかを考えてもらうために、企業の皆様の知恵の使いどころ、という思いを込めて、最新の美・健康に寄与している繊維・材料についての講演会を企画いたしました。

主 催：繊維学会

協 賛：日本家政学会、日本繊維製品消費科学会、日本化学会、繊維機械学会、日本ボディファッション協会、日本衣料管理協会、人間生活工学研究センター

日 時：平成21年5月14日（木）10：00～17：00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス本館4階工学系第1会議室

（東京都目黒区大岡山2-12-1）＜交通＞東急目黒線大岡山駅下車徒歩3分

プログラム：

10:00～10:50 美しさを演出する魅力ある製品をつくるには

—大衆の気分を読み、世界観を創出する—

（株）FCG 総合研究所（フジテレビ商品研） 菅沼 薫

技術者・研究者として必要な資質は、最終商品をイメージできることである。何をつくり、何を研究しているのか自身が認識していないと、商品は出来上がらない。出来た商品に魂が入っていないから、大衆に伝わらない。大衆の気分は、時代と共に移り変わる。技術者・研究者も、大衆が何を欲し、何がしたいか読み取れなくてはならない。ただし迎合するのではなく、半歩先に行く。新しい商品世界観をつくり、魅力的な商品文化へ導くことだ。大衆気分の周期性と、半歩先とはどこかを探る。

10:50～11:40 水溶性食物繊維と健康

昭和女子大学大学院 森高 初恵

水溶性食物繊維、寒天、 κ -カラギーナン、グアガム、キサンタンガムなど、による米飯摂取後の血糖値上昇の抑制効果とグアガム、キサンタンガムなどを用いた嚥下困難者の誤嚥防止効果についての研究を中心に、中高年の生活習慣病や高齢者の誤嚥防止に役立つ食物繊維の働きを具体的に解説する。

13:00～13:50 化粧品における高分子素材—応用例とその機能—

(株) 資生堂 中村 綾野

化粧品は多くの素材から構成される複雑な組成物であるが、その中で高分子素材は重要な機能を果たしている。本講演では、化粧品に応用される高分子素材として増粘剤や皮膜剤の物性と機能について紹介する。またマスク化粧料に欠かせない不織布や、マスカラに配合されるファイバーなどの繊維素材の応用例について紹介する。

13:50～14:40 コラーゲンの秘密

奈良県立医科大学 大崎 茂芳

最近、マスコミにおいて健康食品や化粧品で、「コラーゲン入り」という言葉をよく目にし、耳にする。女性の多くは肌が気になりコラーゲン入りの食品や化粧品に関心を持つようになることがわかる。本来、コラーゲンは皮膚、骨、肺、血管などの組織を構成する重要な成分である。そのため、コラーゲンを食べるとすぐに体のコラーゲンになるという期待感が生まれてきても不思議ではない。そこで、コラーゲンを食べると体のコラーゲンになるのか？という疑問について考えてみるとともに、生体組織におけるコラーゲン線維の配向分布と運動機能との観点から、コラーゲンの秘密を解き明かすことを試みる。

15:00～15:50 ヒアルロン酸の医療応用ー整形外科の現場からー

奈良県立医科大学 熊井 司

生体成分であるヒアルロン酸の持つ高い保水能と粘弾性は古くから知られており、現在では整形外科や眼科など医療の分野でも広く応用されるに至っている。また、最近の美容、化粧品分野でのヒアルロン酸ブームはめざましく、食品としての商品化も進んでいる。本講演では、ヒアルロン酸の基本的な知識とともに、整形外科医療の現場で運動器疾患治療の一つとして応用されているヒアルロン酸注入療法の実際について紹介する。

15:50～16:40 ～柔軟性向上ウェア『柔流』～繊維素材による肩甲骨へのアプローチ

(株) ワコール 清家 望

近年、肩甲骨の可動性を上げることによるQOLの向上が叫ばれているが肩甲骨可動性を上げることによって日常生活からスポーツまでの様々な動作の質が向上することを経験する。

本講演では主に弊社で開発した柔軟性向上ウェア『柔流』が身体、特に肩甲骨に及ぼす影響を述べるとともにゴルフにおける効果を紹介する。また女性の美と健康に着目した他の商品開発事例についても紹介する。

定員：100名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費：(当日配付のテキストを含む、消費税込み)。

個人正会員：7,000円、企業団体会員(維持・賛助会員)：10,000円、企業非会員：15,000円、大学官公庁正会員(個人)：7,000円、大学官公庁団体会員(維持・賛助会員)：10,000円、大学官公庁非会員：15,000円、学生会員：2,000円、学生非会員：4,000円
協賛学会個人会員：7,000円、協賛学会団体会員：10,000円、

申込先：繊維学会へお申し込みください。**参加費は現金書留または銀行振込みでお支払いください(みずほ銀行 目黒支店 普通口座 1894348 繊維学会講演会)**なお、銀行の領収書をもって本会からの領収書に替えさせていただきます。本会から別途領収書の発行はしません。また**振込手数料は振込人にてご負担下さい**。

問い合わせ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208 (社) 繊維学会
TEL：03-3441-5627、FAX：03-3441-3260、
E-mail: office@fiber.or.jp ホームページ：
<http://www.fiber.or.jp/index.html>

(社) 繊維学会 FAX：03-3441-3260

「美と健康を創る繊維・材料」 講演会参加申込書	
参加者氏名 勤務先名 勤務先所在地 〒 (所在地も必ず記入下さい)	
TEL： FAX： (該当する項目に✓印をご記入ください)	
個人正会員 <input type="checkbox"/> 7,000円	大学官公庁会員(個人) <input type="checkbox"/> 7,000円
企業団体会員 <input type="checkbox"/> 10,000円	大学官庁団体会員 <input type="checkbox"/> 10,000円
企業非会員 <input type="checkbox"/> 15,000円	大学官公庁非会員 <input type="checkbox"/> 15,000円
学生会員 <input type="checkbox"/> 2,000円	学生非会員 <input type="checkbox"/> 4,000円
協賛学会個人会員 <input type="checkbox"/> 7,000円 (学会名)	
協賛学会団体会員 <input type="checkbox"/> 10,000円 (学会名)	
払込予定日： 月 日 払込方法： <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 銀行振込(金額 円)	
請求書： <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	
参加証・領収書を送付しますので、必ず送付先・氏名を判読出来るように明確に丁寧にご記入下さい。	送 付 先 〒 → 勤 務 先 名 → 氏 名 様